

<高付加価値型農業に取り組む事例>

○環境負荷軽減型水稻栽培に取り組む

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	石川県七尾市万行町 な お し ま ん ぎ ょ う ま ち			
協 定 面 積 13.5ha	田（100%）	畑	草地	採草放牧地
	水稻			
交 付 金 額 283万円	個人配分			49%
	共同取組活動 (51%)	トラクター購入積立費		36%
		農用地の維持管理費		2%
		農道の維持管理・補修等		1%
		鳥獣害防止対策		7%
		役員報酬・事務費		5%
協定参加者	農業者14名、万行営農組合、非農業者11名			開始：平成12年度

2. 取組に至る経緯

本集落は、今後集落内で耕作放棄地を出さないことを目標に、本制度に取り組み農用地の保全を図ってきており、さらに将来にわたって持続的な農業生産活動を行うため、万行営農組合を設立した。そして、当組合では、協定書の集落マスタープランに掲げた目標である有機栽培を実践し、平成20年には「全国環境保全型農業推進会議会長賞」を受賞しており、現在集落全体で環境負荷軽減型水稻栽培を実践している。

3. 取組の内容

本集落では、交付金を積み立てて共同機械を購入し、共同の防除作業や組合への農地集積を協定目標に位置づけて取り組んでおり、さらに第3期対策においては、維持困難な農用地が発生した場合には、営農組合が引き受ける体制としている。

環境保全型農業については、地域資源で未利用な米ぬか、粃殻、牡蠣殻、里山の竹に着目して粗大有機物として効率的な土づくりを実践し、総合病虫害防除技術の実践や苗質の向上と疎植栽培による稲体の健全化に取り組み、化学肥料・化学合成農薬の節減を図っている。また、新規就農者に対しては技術的・精神的な指導を組合ぐるみで行う等後継者の育成にも励んでいる。



【集落の棚田】



【集落共同の水路清掃】

[集落の将来像]

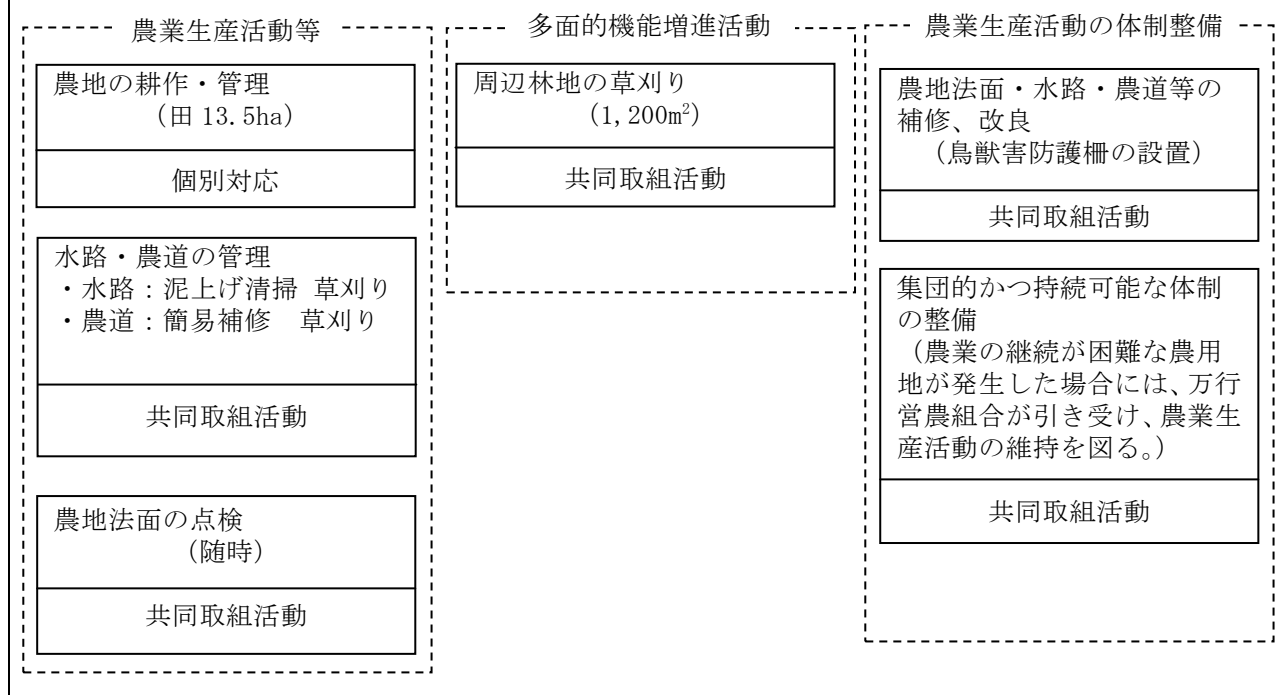
耕作放棄地を出さないよう、協定参加者全員で対応する。



[将来像を実現するための活動目標]

- ・維持困難な農用地が発生した場合は、万行営農組合が引き受ける。

[活 動 内 容]



集落外との連携

組合員が運営する直売所をアンテナショップとして活用して消費者との交流を図ったり、地域に対しては小学校の企画する総合学習の講師に赴いて食育の推進を実践している。

4. 今後の課題等

機械の共同購入や防除作業の共同化による効率化や担い手への農地集積、または環境保全型農業、さらには地域の教育機関や消費者と交流を図るなど、集落ぐるみで取り組むことにより、集落の結束が高まって意欲的となっていることから、今後も集落内の環境保全型農業をさらに進め、地域を活性化させていきたいと考えている。

[第2期対策の主な効果]

- 担い手への農地集積
 - ・協定農用地の集積 1.5ha
- 機械・農作業の共同化
 - ・共同防除 2.2ha
- 環境負荷軽減型水稻栽培の実践